

2018年度

(公財)愛知大学教育研究支援財団 奨励賞授与式

後援会奨励賞 同窓会奨励賞 クラブ愛知賞 資格試験合格者奨励賞

愛知大学 公務員試験合格者奨励賞授与式



日時 | 2019年3月2日(土)11:00~12:30

場所 | 車道校舎 本館3階 コンベンションホール

プログラム

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">一. 開式一. 挨拶 (公財)愛知大学教育研究支援財団 理事長 加藤満憲一. 挨拶 愛知大学 学長 川井伸一一. 後援会奨励賞
選考結果報告 愛知大学 学生部副委員長 印南敏秀
奨励賞授与 愛知大学後援会 会長 山田哲也一. 同窓会奨励賞
選考結果報告 愛知大学同窓会 広報委員長 八木好郎
奨励賞授与 愛知大学同窓会 会長 土井義昭一. クラブ愛知賞
選考結果報告及び授与 クラブ愛知 会長 服部晋吾 | <ul style="list-style-type: none">一. 愛知大学公務員試験合格者奨励賞
試験結果報告
愛知大学 キャリア支援センター
委員長 吉川 剛
奨励賞授与
愛知大学 学長 川井伸一一. 受賞者代表謝辞
公務員試験合格者奨励賞受賞者 代表
後援会奨励賞受賞者 代表
同窓会奨励賞受賞者 代表一. 閉式 |
|--|--|

2018年度 同窓会奨励賞受賞者一覧

● 最優秀奨励賞

個人

こんどう まさひろ
近藤 誠宏氏 | 1964年法経学部経済学科卒業



二科会写真部理事長として写真芸術の振興に尽力

◆ 推薦趣旨 ◆

近藤誠宏氏は1941年岐阜市にて出生、1960年岐阜県立岐阜商業高校を卒業、写真家の実父から、当時の若手を代表する写真家の東松照明氏が卒業された愛知大学に行くよう教えられ、愛知大学に入学と同時に写真部に入部。1964年愛知大学を卒業後、上京し広告代理店フォトフレームに就職、2年後の1966年帰郷、父親と共に写真活動をはじめ、同時に二科会写真部活動を開始。1973年日本写真家協会に入会し、初個展を銀座ニコサロンにて開催、その後、サイパン、テニアン島の戦没者遺骨収集記録に従事、そして数々の個展を開催、1992年岐阜県芸術文化活動特別奨励賞受賞、1998年から岐阜県の「美濃の地歌舞伎」を岐阜新聞社から出版、2012年ぎふ清流国体公式撮影組織を統轄、2012年二科会写真部理事、2016年常任理事、岐阜県芸術文化顕彰を受賞、2018年二科会写真部理事長に就任、2019年「第69回岐阜新聞大賞」(文化部門)を受賞。多くの写真愛好家を指導し写真芸術の振興に尽力、作品集を通じ岐阜県の伝統文化の顕彰に積極的に取り組み、岐阜県の文化振興にも多大な貢献をしておられます。近藤誠宏氏は愛知大学の卒業生として、写真芸術の振興、写真を通じた文化の発展に貢献され、二科会写真部の理事長に就任、幅広い文化貢献活動が認められ、岐阜新聞大賞等、数々の受賞をしておられ、愛知大学の榮譽を高め、写真分野の発展と文化の振興に寄与しておられます。

◇ 略歴 ◇ 1960年岐阜県立岐阜商業高校卒業、1964年愛知大学法経学部卒業、1964年フォトフレームに就職、1966年実父が経営するカメラノコンドウに入社、1992年岐阜県芸術文化活動特別奨励賞受賞、2012年二科会写真部理事、2016年二科会写真部常任理事、2018年二科会写真部理事長に就任、2019年岐阜新聞大賞受賞。

ふるいち とよひろ
古市 豊裕氏 | 2002年法学部卒業



軟式野球 福井県代表としてスポニチ杯優勝

◆ 推薦趣旨 ◆

準硬式野球部に在籍した古市氏は、2002年に愛知大学を卒業後、故郷福井のセーレン株式会社に入社、会社では軟式野球部にも所属社業以外に活躍の場を広げました。5年前2014年には監督も兼務し、同社野球部を福井県の強豪チームに育て上げました。昨年2018年には多くの全国大会に出場し、国体ベスト4、天皇賜杯準優勝、スポニチ杯では見事優勝の栄誉を勝ち取りました。社業に加え野球部の監督・選手の三足のわらじを履き、更に中体連・高体連と連携して野球教室の開催や少年野球チームの練習受け入れなど活躍の場を社外、地域社会まで広げ貢献していることは見事と称賛するほけはありません。古市氏言動の背景には愛大野球部での活動を通じて身に付けた「考えて行動する」哲学があるようです。愛知大学で学び培った生き方を北陸の地で実践している古市氏の姿に共感致します。また自身や準硬式野球部の励みにとし、範と致したいと思ひます。古市氏の活躍は愛大関係者の誇りでもあり、奨励賞に値するものと確信します。

◇ 略歴 ◇ 国民体育大会に福井県代表として10度出場。昨年の地元開催、福井しあわせ元気国体では代表チームの監督として県勢初4位に入賞。福井県の天皇杯獲得(総合優勝)に貢献した。
2009年 天皇賜杯 第64回全日本軟式野球大会優勝(主将)、2018年 天皇賜杯 第73回全日本軟式野球大会準優勝(監督)、2018年 スポニチ杯 第2回全日本軟式大学野球大会優勝(監督)。
愛知大学在学中: 2000年 第52回全日本大学準硬式野球選手権大会 ベスト4入り(主将)。1999年 第18回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会優勝。
◇ 受賞歴 ◇ 2018年福井国体 優秀指導者賞(個人)。2009年 第59回日本スポーツ賞 競技団体特別優秀賞(団体)。

たなか だいぢ
田中 大地氏 | 経営学部2年



香港アジアオープン国際柔道大会で準優勝

◆ 推薦趣旨 ◆

候補者は、不断の努力と自己研鑽を続け、東海学生柔道大会(個人体重別)で2連覇、東海ジュニア柔道大会(同)で3連覇を果たした。この結果が評価され、東海地区の代表として全日本学生柔道選手団の一員に選抜され、香港で開催されたアジアオープン国際柔道大会73kg級に出場した。同大会では、2020年の東京オリンピック出場に向けて各国の選手が世界ランクを上げるためのポイント(1位100ポイント、2位70ポイント、3位50ポイント)獲得に必死に取り組む中、各国代表の選手を次々に破って決勝戦まで進出した。決勝戦では、タジキスタンの選手に僅差で敗れたものの、準優勝を果たした。この試合結果等は、新聞でも報道され大きな反響を呼んだ。上記の理由により候補者の活動は愛知大学(柔道部)の名誉を高めたもので、大きく評価できる。

◇ 略歴 ◇ 愛知真和学園大成高等学校出身。愛知大学 経営学部 経営学科2年在籍中。
◇ 実績 ◇ 2015・2016年 東海高校総合体育大会 81kg級 優勝(二連覇)。2016年 全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 団体5位、81kg級5位。
2016・2017・2018年 全日本ジュニアオリンピックカップ 愛知県大会、東海地区大会(三連覇)。2017・2018年 東海学生柔道体重別選手権大会 73kg級・81kg級 優勝

● 優秀奨励賞

個人

かたやま さとし
片山 理氏 | 2009年国際コミュニケーション学部卒業



「全国実業団対抗テニス大会(団体戦)」において優勝

◆ 推薦趣旨 ◆

片山理氏は、大学在学中、硬式庭球部に所属し、個人戦では東海地区シングルスで準優勝、ダブルスで優勝、全国大会(インカレ)でも活躍、団体戦(リーグ戦)では主将として大学を代表し、1部リーグでエースとして活躍しました。

在学中から、故郷の長野県の代表として「国民体育大会」にも出場、2007年秋田大会、2008年大分大会ではベスト16の好成績をおさめました。国際コミュニケーション学部を卒業後、オーエスジー株式会社(東海地区で強豪の実業団テニスチーム)から、全国の大学から強豪選手を採用する中、スカウトによりご縁をいただき、愛知大学からは初めて選手として採用されました。そして、全国から強豪チーム、選手が集う中、2012年には「全国社会人テニス選手権大会(団体戦)」において、主力選手として活躍し、みごとに優勝を果たしました。(2013年、2014年にも準優勝)また、「全国実業団対抗テニス大会(団体戦)」においても、主力選手として活躍し、2012年にはベスト8、2013年、2014年と2年連続して優勝を果たしています。個人戦においては、全日本選手権長野県予選において準優勝という成績を取めました。

さらに、昨年は愛知大学硬式庭球部のコーチに就任、現役生の模範となり、レベルアップに尽力してくれています。在学中から現在に至るまで、テニスを通じて、愛知大学の知名度のアップに貢献し、今後も愛知大学硬式庭球部のために尽力してくれることが期待できます。

◇ 略歴 ◇ 東海学生テニス連盟主催大会 シングルス準優勝 ダブルス優勝。インカレダブルスベスト32。2008年度東海学生 MVP 選出

いくま りほ
伊熊 梨帆氏 | 短期大学部2年



サービス接遇検定準1級 優秀賞受賞

◆ 推薦趣旨 ◆

候補者の伊熊梨帆は、文部科学省後援実務技能検定協会主催のサービス接遇検定において準1級に合格し、さらに極めて優秀な者に贈られる、準1級ではトップである優秀賞にも選出された。この賞は全国の約5千700人の受験者のうち1%未満しか受賞できないものである。サービス接遇検定は「サービスマインドの育成」を掲げているが、この授業を履修して身につけた知識・能力を学生生活や就職活動にも活かしている。たとえば、オープンキャンパス等の入試広報の場でも学生生活の発表を積極的に引き受けるなど、そのサービス精神を発揮して貢献してくれた。4月からは静岡トヨペット株式会社への就職が決定しており、社会に出た時にもその力を発揮してくれるものと考えている。また、当該学生は1年次には秘書検定準1級も取得しており、社会人となっても一層の活躍が期待できる。

◇ 略歴 ◇ 2017年3月静岡県立浜松南高校卒業。2017年4月愛知大学短期大学部ライフデザイン総合学科入学。2017年12月聴き力検定3級合格。2018年1月秘書技能検定準1級合格。2018年8月サービス接遇検定準1級合格 優秀賞受賞。

● 奨励賞

個人

いとう よしと
伊藤 義人氏 | 1960年法経学部経済学科卒業



青少年の健全育成活動に尽力 青少年の健全育成活動に尽力

◆ 推薦趣旨 ◆

伊藤義人氏は教職員として務める傍ら、青少年の健全育成活動に取り組んでこられました。明るい地域づくりに貢献されたことは、同窓生として嬉しいかぎりです。1998年3月 教職員を退職して、地域自治会を通じ、社会貢献活動を遣ってこられました。

◇ 略歴 ◇ 愛知県田原町立田原中学卒業。徳島県立小松島高等学校卒業。愛知大学法経学部経済学科卒業。浜松経理専門学校卒業、同退職。在職中約30年浜松市青少年課の嘱嘱を受け青少年補導員を務める。

すずき いくお
鈴木 郁男氏 | 1970年法経学部経営学科卒業



少年サッカーチーム蒲郡マリナース 設立

◆ 推薦趣旨 ◆

大学卒業後、少年サッカーチーム蒲郡FCマリナース設立に尽力し代表として現在に至る（ホームページ有り）。公式審判員として活躍され、東海地区のインストラクターを歴任。愛知県サッカー協会常任理事。

◇ 略歴 ◇ 1970年法経学部経営学科卒業

● 最優秀奨励賞

団体

土屋ゼミナール | 長谷川 公充子・高橋 雅直・梅田 飛翔



ビジネスプレゼンテーションコンテスト「外食インカレ2018」において金賞（優勝）を獲得

◆ 推薦趣旨 ◆

一般社団法人名古屋フードサービス協会、日本フードサービス学会主催のビジネスプレゼンテーションコンテスト「外食インカレ2018」（1次審査：8月31日/2次審査：10月12日/最終審査：11月17日）に出場し、金賞（優勝）を獲得しました。初の開催となる本年度の大会には日本全国から138チーム計415名の大学生と大学院生が参加しました。最終選考に残った6チームはすべて現在外食産業が抱えている諸問題を様々な角度から分析し、具体的な解決方法を提案するものでした。日本を代表するフードチェーンのトップマネジメントの方々が審査員となり、学生のプレゼンテーションに対し、現実的なビジネスの視点からレベルの高い質問を次々と投げかけました。金賞を受賞したチームは「社会インフラとしての外食産業 セルフケア外食—日本国民の健康を管理する—」というテーマで「外食産業を利用しなければ健全な栄養管理はできない」という仕組みをいかに実現するかについてのビジネスモデルを提案しました。個別企業のみならず外食産業全体で共有できる新たなプラットフォームの構築を提案したことが高く評価されました。今回の愛知大学の金賞受賞は“外食インカレ初代王者”という記念すべきタイトル獲得となりました。

● 優秀奨励賞

団体

為廣ゼミナール「さんぶんのご」 | 尾太 有輝・川嶋 麻友・末宗 紗季・藤原 沙月・池田 すもも



名古屋マーケティング・インカレ優勝

◆ 推薦趣旨 ◆

名古屋マーケティング・インカレは、名古屋近隣大学のマーケティング研究を行うゼミナールが参加する研究発表大会で、2006年から毎年開催されており、学生が大学を越えて交流をもち、研究を深めあうことを目的としている。2018年度は第13回大会が開催され、6大学（愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、名城大学、名古屋学院大学、愛知工業大学）、8ゼミナールの学生（約140人、30チーム）が参加した。為廣ゼミナールでは、毎年、数名のチームに分かれて名古屋マーケティング・インカレに参加しており、2018年度はこのうちのチーム「さんぶんのご」が「家庭における食料備蓄を増やすには」という研究テーマで参加し、最優秀賞（1位）に選ばれた。

土屋ゼミナール | 加治 玲実・田中 ゆかり・文井 大地



ビジネスプレゼンテーションコンテスト「外食インカレ2018」において 奨励賞（4位）を獲得

◆ 推薦趣旨 ◆

一般社団法人名古屋フードサービス協会、日本フードサービス学会主催のビジネスプレゼンテーションコンテスト『外食インカレ2018』（1次審査：8月31日/2次審査：10月12日/最終審査：11月17日）に出場し、奨励賞（4位）を獲得しました。初の開催となる本年度の大会には日本全国から138チーム計415名の大学生と大学院生が参加しました。最終選考に残った6チームはすべて現在外食産業が抱えている諸問題を様々な角度から分析し、具体的な解決方法を提案するものでした。日本を代表するフードチェーンのトップマネジメントの方々審査員となり、学生のプレゼンテーションに対し、現実的なビジネスの視点からレベルの高い質問を次々と投げかけました。奨励賞を受賞したチームは「朝食PASS～朝をデザインし残業ゼロへ～」というテーマで臨みました。『従業員が毎朝規則正しく朝食を摂取することが企業の生産性向上につながる』という前提を各種分析から証明し、企業の福利厚生の一環としての朝食のあり方についてのビジネスモデルを提案しました。現在、朝食市場を十分に獲得できていない外食産業の課題に挑戦したことが証明されました。

●奨励賞

団 体

田中ゼミナール「おろしぼんず」 | 浅井 裕夢・鈴木 啓太・森下 篤也・鈴木 利奈・大山 綾海



名古屋銀行 PBL 型企画体験型 PG 優秀賞

◆ 推薦趣旨 ◆

本大会は、株式会社名古屋銀行と中部の6大学（本学、愛知淑徳大学、中京大学、名古屋学院大学、南山大学、名城大学）との人材育成における連携協定の一環として実施されたものである。今回のプログラムは、「行ってみたい銀行」と思えるサービス・商品、および『付き合いたい銀行』と思えるサービス・商品について提案するもので、6大学から代表の6チームが参加した。2018年10月20日（土）に名古屋銀行本店にて最終発表会が行われ、本チームは外国人を対象とした提案についてのプレゼンテーションを行い、審査の結果、優秀賞（準優勝）を獲得した。本活動は、企業との連携に基づくPBL（課題解決型）プログラムとして、本学の課外活動の向上に貢献した。また、この活動はHP等で広報され、優秀賞の受賞により、本学の名誉を高めたと考えられる。

為廣ゼミナール「mono」 | 鈴木 茉衣・山口 夏輝・中島 未帆・川口 真吾



名古屋マーケティング・インカレ準優勝

◆ 推薦趣旨 ◆

名古屋マーケティング・インカレは、名古屋近隣大学のマーケティング研究を行うゼミナールが参加する研究発表大会で、2006年から毎年開催されており、学生が大学を越えて交流をもち、研究を深めあうことを目的としている。2018年度は第13回大会が開催され、6大学（愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、名城大学、名古屋学院大学、愛知工業大学）、8ゼミナールの学生（約140人、30チーム）が参加した。為廣ゼミナールでは、毎年、数名のチームに分かれて名古屋マーケティング・インカレに参加しており、2018年度はこのうちのチーム「mono」が優秀賞（2位）に選ばれた。

●クラブ愛知賞

団 体

愛知大学 名古屋教職サークル



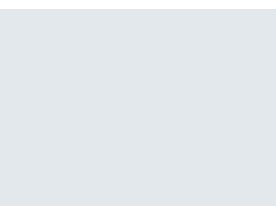
子どもの未来応援プロジェクト 「一人親家庭の子どもたちへのケア・学習支援」

◆ 推薦趣旨 ◆

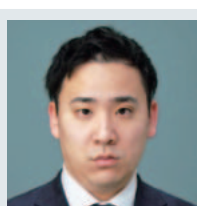
教育において貧困が大きな問題となる中、特に教育格差が生まれやすいシングルマザー家庭の自立支援を展開している非営利団体とタイアップして、ボランティア活動を実施している。シングルマザーのシェアハウスに週2回訪問し、学習指導等のケアを行う他、季節行事では、夏のバーベキュー大会や冬のクリスマス会などにはシェアハウスの子どもたちだけでなく30組もの一人親家庭の親子が参加している。平成29年度に活動を開始して以来、延べ400名以上の学生が参加し、子どもたちからは「お兄さんやお姉さんと勉強したり遊べるのが楽しい。」「大きくなったら、愛知大学に入りたい」などの嬉しい声が寄せられている。教育格差が子どもの進学等に影響を及ぼすと言われており、こうした学習支援活動等により、学習の必要性や大学進学という進路を知ることにもなり、また、社会の多様性を学ぶことにもつながり、子どもたちの未来への夢を大きく育むものとなっている。

●同窓会資格試験合格者奨励賞

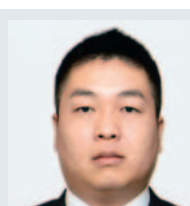
司法試験



長谷川 文哉
2018年3月修了



佐藤 浩庸
2017年3月修了



原 佑太
2016年3月修了

学生教育活動顕彰（後援会奨励賞、同窓会奨励賞、クラブ愛知賞）

概 要

愛知大学関係者（教職員、在学生等）および愛知大学の卒業生が、社会・文化・学術・芸術・スポーツ・社会貢献などの分野において活躍し、一定以上の成果をおさめた個人および団体に対し、その栄誉を称え、一層の励みとすることを目的に顕彰する。

給付金額

- ① 最優秀奨励賞：100,000円
- ② 優秀奨励賞：50,000円
- ③ 奨励賞：30,000円
- ④ クラブ愛知賞：100,000円

*個人には給付金額相当の記念品を贈呈する。

申請時期

1月末まで

（学術・文化の部）

- ① 最優秀奨励賞：
全国的な学術・文化活動並びに大会で特に優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
- ② 優秀奨励賞：
中部・東海地区およびそれに準じた地区大会で優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
- ③ 奨励賞：
上記以外の活動、大会で優秀と認められた個人及び団体

（スポーツの部）

	① 最優秀奨励賞	② 優秀奨励賞	③ 奨励賞
国際・全日本大会（予選あり）	優勝、準優勝、3位	4位－8位	出場者
国際・全日本大会（予選なし）	優 勝	準優勝、3位	4位－8位
中部・東海地区大会及びそれに準ずる大会		優 勝	準優勝
その他の大会			優 勝
マネージャー等			所属部の発展に貢献した者（卒業年次生）

出願資格

（社会貢献の部）

- ① クラブ愛知賞：
愛知大学に在学する学生や学生達で構成する団体で、顕著な社会貢献活動が認められた個人及び団体

必要書類

奨励賞推薦書

決定方法

後援会奨励賞は、愛知大学の教職員で構成される選考委員会（学生部委員会または運動部長協議会）にて選考し、愛知大学教育研修支援財団に出願された書類をもとに本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。
同窓会奨励賞は、愛知大学同窓会より推薦のあった候補者を本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。

同窓会資格試験合格者奨励賞

概 要

愛知大学教育研究支援財団が決めた資格試験（司法試験、公認会計士試験、弁理士試験、国家公務員総合職試験、司法書士試験、税理士試験）に合格した者に対して表彰し記念品を贈呈する。

金 額

30,000円相当の記念品

出願資格

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中または卒業した者で、当該の資格試験に今年度もしくは前年度中に合格した者

必要書類

- ① 資格試験奨励賞申請書
- ② 当該の資格試験に合格したことを証明する書類（写し）
- ③ 在学証明書または卒業（修了）証明書

決定方法

出願された書類をもとに、愛知大学教育研究支援財団での審査を経て決定する。

